

あなたの心にジャストミート 5月19日メッセージ
絶対的根本 (ヨシュア 8:30-35)

イスラエルが神様の約束の地であるカナンに入り、征服する契約の成就を少し味わったとき、神様は絶対に揺れてはいけない根本を確認させる作業をなさいました。神様がモーセに言われたこと(申11:227-28)をヨシュアが引き継いで語ったのが本文の内容です。キリストをあらわす契約の箱を真ん中にして、両側の山に半分ずつの部族が立ち、祝福の内容と、のろいの内容が伝えられると交互にアーメンと言いました。それは、カナンの長い戦いにおいて、絶対に忘れてはならない「絶対的根本」を語られたということです。それは、「キリストの内側に祝福あり、キリストの外側にのろいあり」ということです。

金持ち、健康な人、世的な成功、善良な人、性格が良い人が祝福なのでありません。貧乏、病、失敗、犯罪、悪い性格がのろいなのでもありません。「キリストの内側が祝福、外側がのろい」なのです。これを世の中は嫌って、消そうとします。しかし、聖書はすべての人が罪人だと教えています(ローマ 3:23)。すべての人が罪を犯し、いのちの根源である創造主から離れました。罪の結果、悪魔の子どもと呼ばれる存在になったのです(ヨハネ 8:44)。生まれながら御怒りを受けるしかない存在です(エペソ1:3)。死後も地獄で、生きていても地獄の運命を抱えています(ルカ 16:19-31)。その罪とのろいの運命から解放される道は、世の中にはなく、神様が約束してくださった女の子孫(創3:15)しかないのです。ほかのことは見向きもする必要ありません。only キリストしかないのです。そのキリストの内にいることが祝福、外にいることがのろいです。その根本が薄れて、揺れて逃すなら、世の流れに流されるしかありません。自分がどんなに決心しても勝てません。ヒューマニズムに捕らわれて、教会が世俗化して、宗教と同じようになって、みことばをもって律法主義になり、

制度化してしまうので、消滅するしかないのです。根本が薄れているからです。

根本が薄れるので、霊的無気力になります。その結果、信者、教会がサタンの捕虜になります。それがイスラエルの歴史であり、いまのキリスト教会の姿です。この絶対根本に立つことがいざばんたいせつなことです。うまくいくこと、良いことが基準ではありません。ヨセフは、奴隷になってもなくても、キリストの内なら祝福という根本に立っていました。失敗したペテロも、キリストの内なら祝福という根本に立ち、なにひとつ問題になりませんでした。すべてのことを働かせて益とされました。弱さも、キリストの内なら祝福です。ですから、パウロは弱さを誇りました。

人間のなにかを先に見て、傷ついたり、自慢したりしていると脳が混乱して精神問題が起きます。根本がずれると、聖書のみことばが聞こえませんが、根本をしっかりとした絶対的なものにするなら、状況、トラブル、失敗があっても、キリスト中心にして、キリストにあって造り変えられた自分を発見しましょう。キリスト中心に自分を見て、祝福の存在であることを忘れないようにしましょう。罪や困難で、サタンに心を奪われてはなりません。主の祈りで「悪から救い出したまえ」と祈るように、心を奪われ、サタンに心を譲る必要がないのです。根本がしっかりしているなら、サタンに心を奪われることはなく、どんなことも祝福に変えるようになります。キリストに目を向けるのか、サタンに心を譲るのか、2つにひとつです。

根本がしっかりしているなら、**信者同士を見る目もちがいます**。全員が伝道者です。悟ってない人は、悟れるように祈ってあげ、使命に気づくように祈ってあげればよいのです。それが愛であり、イエス・キリストのこころがまえます。また、根本がしっかりしているなら、**世の中を見る目もちがいます**。



す。キリストの外にいるすべての人が伝道対象者です。恐れる必要も、うらやむ必要もありません。すべて起きることは、伝道にかかわることで、契約の旅程として見るようになります。残りの人生は、カナン征服という神様の聖なるミッションのためだと夢を見ます。そして、その征服のためには、聖霊による力が必要だと祈ります。

ただ根本がしっかりしているのかどうかだけです。キリストの内なら祝福です。キリストに向きかけになるなら、問題があるほうが祝福でしょう。大きい問題であればあるほど、キリストだけに頼るから、幸いでしょう。根本に立って人生を解釈しましょう。過去はキリストに出会うため、祝福に入るためのものでした。現在は、キリストを豊かに味わうためのものです。証拠が与えられ、未来はキリストを

あかしする証人になります。過去と今を、正しく解釈することによって、未来は他人を取り囲む暗やみを打ち砕くダブル勝利を受けるようになります。

キリストの内なら祝福、キリストの外ならのろいという絶対的根本を絶対に譲らないようにしましょう。そして、キリストの内にいるので、どんな状況でも祝福の人間だと確認して、口ずさみ、感謝で締めくくりましょう。心の傷でさえ、祝福です。なにひとつ引つかかる必要なく、なにもおそれず、うらやまず、問題にしない、私は祝福の者だと告白しましょう。そして、心配、ねたみ、批判によってサタンに心を譲られることなく勝利するようにと祈ります。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 8 : 30-35 絶対的根本

なるほど、「キリストの中は祝福であり、キリストの外は呪いである」が絶対譲れない明確な根本になっている人は、どんな状況でもサタンを踏みつけて立つ勝利者となる。ならば/自分はキリストが絶対根本なのかをチェックして告白しよう。信者である自分は、絶対幸せ者だと繰り返して口ずさみ、感謝しよう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年5月19日)

1 部礼拝 : 見張り人教会と神殿 (エゼ 3 : 16-21、エゼ 33 : 7-9)

苦しみと危機が生じたとき、精神疾患と病気の時代に私に特別な答えと恵みをくださり、私を見張り人として召されたことに感謝します。静かに祈りの力を持って守っていて、苦しみと危機が生じたときに知らせて守って生かす使命を果たしますように。私を見張って、私の運命を変える見張り人になりますように。どんな苦しみが生じても真理を真理として守り、教会を守る見張り人になりますように。サタンに捕らえられた現場を生かして新しい神殿を準備する見張り人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝 : 干からびた骨を生き返らせよ (エゼ 37 : 1-14)

見張り人の祝福を握って、干からびた骨のようになった現場を生かすように、みことばを預言するようにしてくださり感謝します。教会がレムナントたちに霊的な力を得させて、絶対不可能な霊的問題を解決して、霊的力を得て勉強しますように。絶対可能にさせる契約の中で、レムナントたちにみことば、息を預言して、アイデンティティを知って、墓から出ますように。切り株、新しい芽、森につながる神様の絶対時刻表を見てレムナントを育てますように。次世代を育てる所に起きる御座のみわざを見ますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。